



2019, 9, 19 NO, 259

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319

区議会第3回定例会 一般質問

中高年のひきこもりへ 支援強化を

先週号に続き、9月11日に行った区議会本会議
質問、①中高年のひきこもりへの支援、②加齢性
難聴への支援について、要旨を報告します。

中高年のひきこもり
全国で推計61万人以上

今年3月、内閣府は、全国で40歳から64歳まで
のひきこもりが、推計で61万3千人に上るとの調
査結果を発表しました。ひきこもりの期間は7年
以上が全体の半数を占め、きっかけは「退職」が
最も多く、人間関係、病氣と続いています。

内閣府の推計を単純に杉並区に当てはめると、
40歳から64歳までのひきこもりの人数は2700
人余と推察されます。

区も支援の重要性を認める

ひきこもりが増加している背景には、長時間過
密労働や職場でのストレスの増大などが指摘され
ています。現状を放置すれば、近い将来、膨大な
“貧困高齢者”が生みだされ、孤独死の激増など、
深刻な社会問題と
なることが懸念さ
れています。



私は、ひきこも
りへの支援の重要
性について、区の
認識を質しました。
区は“期間が長
期化することで社

会的孤立を深め、就労の
機会を得ることが困難と
なったり、親の高齢化で
生活が立ち行かなくなる
不安など世帯全体に波及
する問題であり、家族も
含めた支援が重要”との認識を示しました。

相談体制のさらなる拡充を

区内での相談は、主に「くらしのサポートステ
ーション」が対応しています。相談件数は昨年度29
件でしたが、今年度は7月末現在30件でした。

私は、次の4点について強化を求めました。

- ①相談窓口の明確化と周知徹底・強化を
(答弁) 早期の支援につなげるよう関係機関と
の連携も含め周知に努める。
- ②相談窓口に来られない人への訪問支援の充実を
(答弁) 訪問支援にも適切に対応したい。
- ③複雑・困難事例に対応できる職員体制の強化
(答弁) 研修の充実など対応を図っていきたい。
- ④家族への支援、ネットワークづくりについて、
(答弁) 家族に対する支援は重要と考えている。
相談者の必要に応じて民間支援団体を案内す
るなど、関係機関と連携を図っている。

ひきこもりなど、困難を抱えた方に対する支援
拡充のために、今後も力を尽くします。

(※「くらしのサポートステーション」につい
ては裏面をご参照ください)



補聴器購入助成、加齢性難聴への支援を

早めの補聴器使用が大切

難聴になると、コミュニケーションにも支障が出て社会的に孤立することで、認知症のリスクが高まるといわれています。そのため、できるだけ早期に補聴器を使用することが聞こえの改善にとって大切ですが、補聴器は高額で、低所得の高齢者には手ができません。

現在、公的補助は、両耳の聴覚レベルが70デシベル（40センチ以上離れると会話が理解しえないレベル）以上しか聴き取れないなど、身体障害者手帳が交付されている人に限られています。一方、WHO（世界保健機関）は、41デシベル（基本的には聞こえるが、時々人の言うことがちよつと聞き取れないレベル）以上の人に補聴器をつけることを奨励しています。難聴を悪化させないためにも早めに手を打つことが大切です。



福祉用具全般の再構築のなかで検討

23区では3区が都の包括補助事業を活用し、そのほか5区が区独自で補聴器購入補助を実施しています。

私は、あらためて補聴器購入助成について、区の認識を質しました。区は、今年度実施する高齢者実態調査等で、補聴器も含め希望する福祉用具に関する質問を設定し、その結果を受け、福祉用具全般の再構築を検討する、と答弁しました。

補聴器購入助成の実現に向け、引き続き力を尽くします。

業務案内

「くらしのサポートステーション～生活自立支援窓口～」とは？

経済的な困りごとと合わせて、生活上でさまざまな不安や課題を抱えた方の相談窓口です。支援員と一緒に課題を整理し、利用できる制度のご案内や解決に向けた支援を関係機関と連携しながら行います。

ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください。

- 失業後なかなか仕事が見つからず家賃が払えない
- 生活が苦しく、子どもに学習環境を整えることができない
- 家族がひきこもりがちで将来が不安
- 借金の返済が多く、今の収入だけでは生活が苦しい
- 子どもの将来のためにお金をためておきたいが、余裕がない
- 計画的にお金を使うことができず、生活に困ることがある



窓口案内

●開設日時：月～金曜日(祝日・年末年始除く)
午前8時30分～午後5時

- 電話：03-3391-1751
- FAX：03-3391-1752
- メール：kurashi@sugisyakyo.com

生活の相談につきましては、状況をできるだけ正確に把握させていただくため、お電話か面談でお願いしております。窓口に来られない場合には、訪問することができます。基本的なお問い合わせには、メールでもお答えできます。
*事前にご予約いただきますと、お待ちさせることはありません。

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16
ウェルファーム杉並1階



生活の不安…ひとりで悩まず、ご相談ください!



安定した暮らしに向けて、一緒に解決策を見つけたいきましょう。

相談無料・秘密厳守

くらしのサポートステーション

生活自立支援窓口

電話 03-3391-1751
kurashi@sugisyakyo.com